

## 緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 平成 30年 11月 3日

### 緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
佐世保市総合医療センター	
企画名	
平成 30 年度 市民公開講座 がんとわかったときから始まる緩和ケア～緩和ケアを正しく知っていただくために～ 事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など)	
・ 当院の健康教室でチラシを配布 ・ 当院のホームページに掲載 ・ 当院の広報誌にチラシを添付 ・ 当院の掲示板にポスターを貼付	
当日の実施内容について	
日時(期間)	平成 30 年 10 月 13 日(土) 14:00～16:00 (開場 13:30)
実施場所	佐世保市総合医療センター 救命救急センター6F 大研修室
参加人数	60名(内訳 一般参加者 48名、スタッフ 12名)
具体的な実施内容： 〈プログラム〉 Ⅰ 『肺がん治療の今』 佐世保市総合医療センター 副院長 呼吸器内科 医師 早田 宏 Ⅱ 『がんと緩和ケアの関係』 佐世保市総合医療センター 緩和ケア科 診療科長 医師 富安 志郎 Ⅲ 『入院から在宅まで緩和ケアチームがサポートします』 佐世保市総合医療センター 緩和ケア認定看護師 濱口 幸人	
効果について(アンケートの結果など)	
・ ノーベル賞効果でオプジーボが話題になり、がん治療に興味を持って講演を聴きにこられた方が何人かいらっしゃった。 ・ 質疑コーナーの中で、緩和ケアを知らなかったという参加者がおられ、緩和ケア科の取り組みについて知っていただく良い機会となった。	
その他報告	
公式ホームページ(緩和ケア.net)への掲載について	
<input checked="" type="checkbox"/> 掲載してもよい <input type="checkbox"/> 掲載しないで欲しい	
※掲載を希望される場合、個人情報の取扱いにご注意ください	

- ポスター、チラシなどを作成した場合、添付してください
- 当日の様子(当日配布資料、会場、イベント実施時の写真など)を添付してください  
 ※個人が特定できるお写真などの情報の掲載は控えください。

**市民公開講座**  
**がんとわかったときから**  
**はじまる緩和ケア**  
 ～緩和ケアを正しく知っていただくために～

10月第2週は世界ホスピス緩和ケア週間です。  
 「緩和ケア」の本当のところを、「がん」という病気を通して学んでみませんか？

**日時：平成30年10月13日(土)**  
 14:00～16:00 (開場: 13:30)

**会場：佐世保市総合医療センター**  
 救命救急センター6階大研修室

**事前の参加申込は必要ありませんので、ぜひ、ご参加ください。**  
 駐車場は、当院駐車場をご利用ください。会場で無料処理を行います。

**プログラム** 総合司会：地域連携センター 看護師 畑中 玲子

14:00～14:20 『肺がん治療の今』  
 呼吸器内科 医師 早田 宏

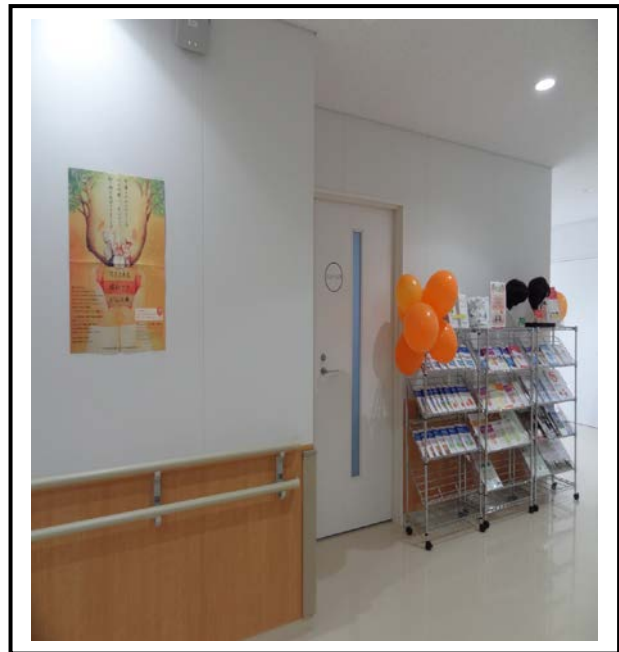
14:20～14:50 『がんと緩和ケアの関係～いつから始まる?～』  
 緩和ケア科 医師 富安 志郎

休憩

15:00～15:30 『入院から在宅まで緩和ケアチームがサポートします』  
 緩和ケア認定看護師 瀧口 幸人

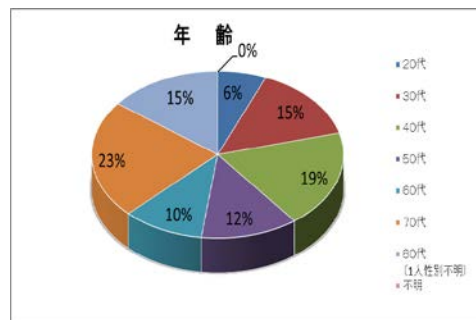
15:30～16:00 質疑コーナー

連絡先：佐世保市総合医療センター 経営企画課企画係  
 電話 (0956) 24-1515 (内線6195)  
 主催：佐世保市総合医療センター

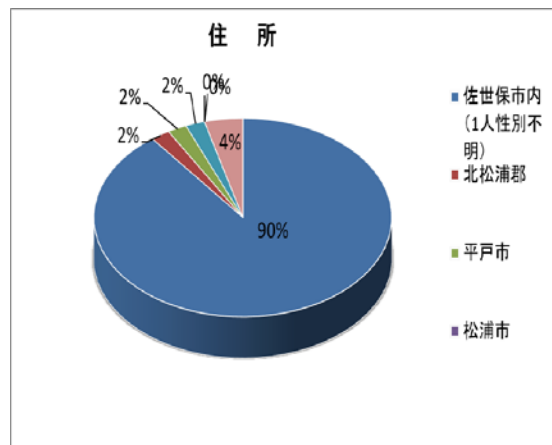


アンケート対象者 57 名 うち回答者 48 名 (回答率 84.2%)

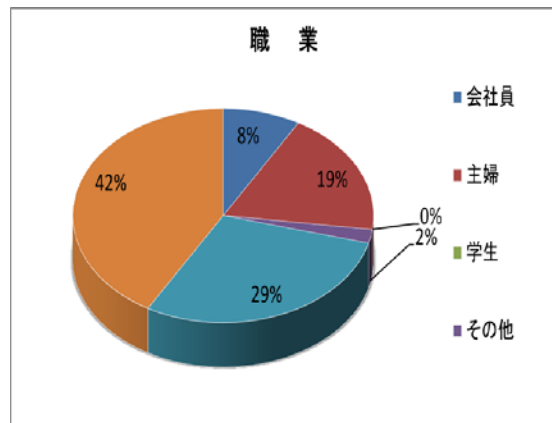
大項目	中項目	計	男	女
問1 年齢	20代	3	1	2
	30代	7	4	3
	40代	9	0	9
	50代	6	3	3
	60代	5	0	5
	70代	11	4	7
	80代 (1人性別不明)	7	2	4
	不明	0	0	0
		48	14	33



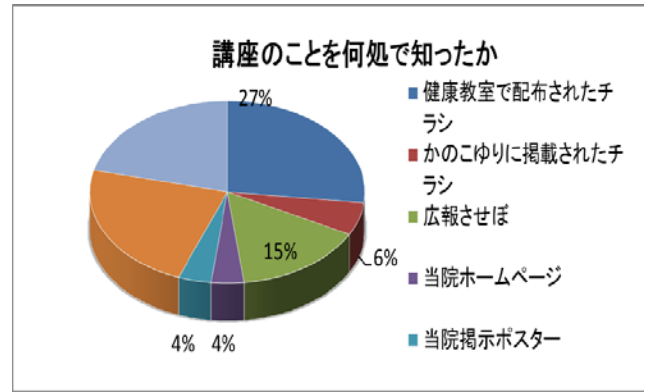
大項目	中項目	計	男	女
問1 住所	佐世保市内 (1人性別不明)	43	13	29
	北松浦郡	1	0	1
	平戸市	1	0	1
	松浦市	0	0	0
	東彼杵郡	1	1	0
	西彼杵郡	0	0	0
	その他	0	0	0
	不明	2	0	2
		48	14	33



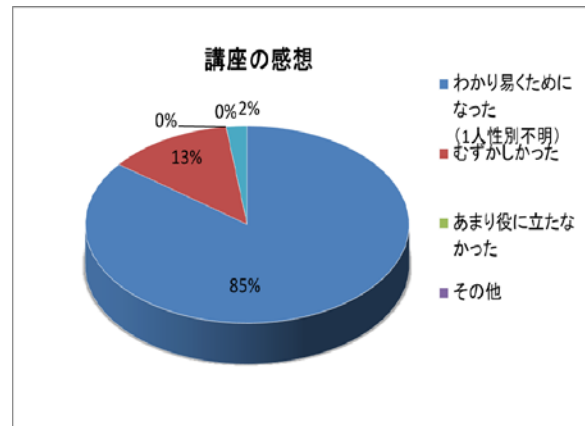
大項目	中項目	計	男	女
問1 職業	会社員	4	2	2
	主婦	9	0	9
	学生	0	0	0
	その他	1	0	1
	なし (1人性別不明)	14	6	7
	医療関係	20	6	14
		48	14	33



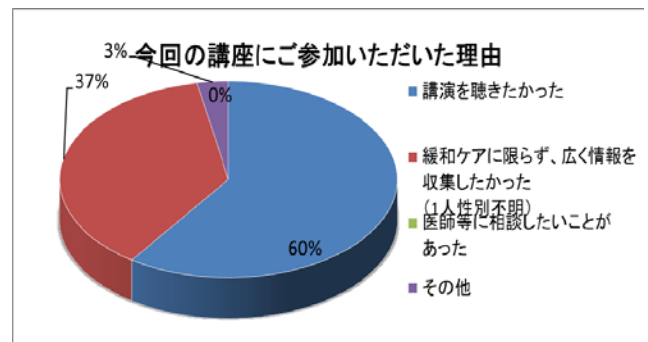
大項目	中項目	計	男	女
問2 どこで知ったか(複数回答可)	健康教室で配布されたチラシ	14	3	11
	かのごゆりに掲載されたチラシ	3	1	2
	広報させぼ	8	3	5
	当院ホームページ	2	2	0
	当院掲示ポスター	2	1	1
	友人・知人	12	4	8
	その他	11	4	7
		52	18	34



大項目	中項目	計	男	女
問3 講座の感想	わかり易くためになった(1人性別不明)	41	10	30
	むずかしかった	6	1	5
	あまり役に立たなかった	0	0	0
	その他	0	0	0
	不明	1	1	0
		48	12	35



大項目	中項目	計	男	女
問4 今回の講座にご参加いただいた理由を教えてください(複数回答可)	講演を聴きたかった	40	11	29
	緩和ケアに限らず、広く情報を収集したかった(1人性別不明)	25	6	18
	医師等に相談したいことがあった	0	0	0
	その他	2	1	1
		67	18	48



問6	次回の講座にどのような企画を期待するか
1	透析患者のサポート(生活向上)
2	家族がかかっている病気、自分もなりやすい病気、家族としてのサポートの仕方も知りたい。
3	すべて
4	健康で生活ができ生きがいを見つける事
5	高齢なので十分理解できなくても新しい病などしてくださればと思います。がんはまだまだ国民病だと思うのでまた緩和ケアを特にお願いしたい。
6	リンパマッサージの方法等、病気の予防（認定ナースの方のお話しに感動しました）
7	医療機関関係部門の独自の考案による人の生活実態の状況による“テーマ”をお願いし広報してほしいです。
8	放射線治療・コウガン治療について
9	高血圧、高脂血症改善
10	リウマチ、変形性関節症(肩・膝・股関節など)
11	成人病、生活習慣病
12	小児の地域での支援・治療、高次脳機能障害者の連携・支援体制
13	救急医療の現状について
14	足や腰の痛みなど 大腸がんなど
15	自宅での看取りについて 病院・地域・CMなど連携について 平戸市、町などでも・・・みなさんに知ってほしいと思います。
16	介護、医療など幅広い講座を受講したい。
17	現在は健康な85歳独居女性です。命終わるまで自宅で暮らしたいと思っていますが、介護保険と共に医療にも頼らねばなりません。その際の「地域医療」の提供など、よく知りたいです。
18	兄が膵臓がんで半年で亡くなってしまいました。1人住まいだったので、最終はホスピスに入り診てもらいましたが、早かったです。でも煙草はやめなくて亡くなる3日前までずっていました。 77歳亡 先生にあとどのくらいの生命かと聞いていました。昼2時頃1人で亡くなってしまいました。苦しんではいけません。私も2時間前まで見ていました。それだけ(おだやか)がせめての救いでした。抗がん剤もしていません。

問7	当院への要望
1	市民公開講座の広報PR(やや不足?)
2	院内の場所がわかりにくい
3	大変失礼な事を申し上げますことをお許し下さい。講師の方のマイクの音質や音量や言葉の鮮明さ等、前もってテストして頂ければ幸いです。高齢になり、だんだんと理解しにくくなり申し訳ございません。
4	まだまだ知識不足ですが、学習を深めて少しでも患者さん、ご家族へ寄り添ったケアができるようになりたいと改めて感じました。講演ありがとうございました。
5	市民へ充実した医療提供ができるための環境、人材の質を向上させ、安全安心な街づくりへ努めて頂きたい。
6	パンフレットetc資料を提供していただくと、帰ってから再度自己学習ができるので、ぜひお願いしたいです。よろしくお願いします。
7	緩和ケア科という科があることを初めて知りました。
8	直接病院へ来れないのが悲しいです。
9	今日の皆さんの様々な思いを持っていらっしゃる医師、看護師、CM、ソーシャルワーカーetcが多くなる事を希望します。ありがとうございました。又、次回別の会場でお会いしたいと思います。
10	広く市民に開放された医療機関であってほしい。